



DOCOMO TEAM DANDELION RACING

Team Release

決勝レースレポート

2012/11/18 JAF グランプリ 富士スプリントカップ

天候：晴れ 気温：18℃ 出走台数：18台

観客数：16日（金）8,000人 17日（土）19,000人 18日（日）68,300人

快晴の富士の麓でむかえた、JAF グランプリ 富士スプリントカップ 決勝レースは、フォーミュラカーの魅力が凝縮された、僅か22周 100km のスプリントレース。

タイヤ交換、給油義務のないスプリントレースは、まずスタートが大きなポイント。

ポールポジションスタートの塚越選手、2列目4番手スタートの伊沢選手は、スタートに向けて集中力を高めてゆく。

得意のスタートを決めたのは伊沢選手。やや出遅れた塚越選手は、ロッテラー選手に先行を許すと、伊沢選手にも1コーナーで並ばれてしまう。その1コーナーでタイヤをロックさせてしまった塚越選手は、伊沢選手の右サイドに接触。この接触で左サスペンション破損しピットインを余儀なくされた。

伊沢選手は2番手走行。第3セクターで勝る3番手オリベイラ選手の執拗なアタックを、抜群の速さを見せる第2セクターと、トップスピード重視のローダウンフォースセットで引き離し、ゴールまで2番手ポジションを守ってチェッカーを受けた【**レース後、ロッテラー選手の失格により、伊沢選手 優勝となる】。

塚越選手は、完走扱いにならない6周回遅れながらも、少しでもファンの前で走りたいと、車両を修復してコースイン。ゴールまで果敢な走りを見せシーズン最後のレースを終えた。

40：伊沢選手 優勝

今季最後のレースを優勝（今季3度目）で終えることができ最高です。ホンダにとっても、富士スピードウェイでの久しぶりの優勝だと思います。セクター2で引き離すことができても、ストレートでは防戦一方となる展開が多かったため、車両コントロールが難しくなることを承知で、あえてストレートスピードも重視してダウンフォースを減らしたセットアップで臨んだことが、結果的に良かったですね。

今年はとても楽しめたシーズンでした。チームチャンピオンを獲得し、最後までチャンピオンシップ争いを展開できました。さらに上を目指して、来シーズンさらに強く、もっと速くなって皆様と共に戦いたいです。応援本当にありがとうございました。

41：塚越選手 不完走（規定周回数を満たさず）

スタートで失敗し、1コーナーでロックしてしまったときに、伊沢選手とも接触してしまい、修復のためピットインとなりました。予選はよかったです。決勝では安定感なくミスがあり、非常に残念に思います。ただ、今季初優勝を飾り、チームチャンピオンタイトルにも貢献できたことで、大きく成長できました。この経験を次のステップに繋げて、2013年もタイトルを狙います。皆様応援ありがとうございました。